



# ほけんだより

2021年6月発行  
学校法人織田学園  
おだ認定こども園

園内の感染症発生状況や健康に関する情報は、  
連絡アプリでも随時お知らせしています。

## ●少しずつ暑さに慣れる『暑熱順化』。体づくりの季節です！

むしむしと湿度の高い暑さの季節です。人の体は、気温が上昇すると頭や体の皮膚の血流を急激に増やして体の熱を外に逃がし、体を守るよう調節しています。子ども達はまだこの調節機能が成長途中で、うまく汗をかけないことなどが原因で体に熱がこもり、熱中症になる危険があります。戸外で汗をかく経験を積み重ねて「暑熱順化」を促進し、真夏の暑さに負けない体の調節機能を育てましょう。

●5月感染症等：突発性発疹2名（5歳・3歳）中耳炎、咽頭炎、扁桃炎、結膜炎 他発熱・咳・下痢・嘔吐

### 最近の『水いぼ』事情

- 『水いぼ』は、ウィルスによる皮膚感染症です。完治まで半年～1年以上かかる傾向があります。
- 肌のバリア機能低下で広がりやすく、ひっかくと増えるため、数が少ないうちに皮膚科を受診し、スキンケアについて相談しましょう。
- 水いぼの治療方針は、大きく2つ『とる処置』と『肌を保湿しながら免疫がつくのを待つ』があります。根気よく取る医師もいますが、最近は処置後の傷が化膿してとびひになる、免疫がつくまでは増える事もある、子どもの苦痛を伴う、などの理由から、小児科・皮膚科とも、免疫がつくのを待つ方針の医師も多いようです。



●登園について：水いぼができている部分は、他のお子さんと接触してうつさないように保護するか、服で隠れるようにして登園して下さい。

●プール・水遊び・泥遊び：部位により、防水パッチ（注射後のシール状絆創膏、ドラッグストア等で販売）やラッシュガード等を使用し、接触を防ぐよう配慮をお願いします。

●その他、対応方法については、担任や看護師にご相談下さい。参考：[日本小児皮膚科学会](#)

### 雨の月曜日・金曜日は 自転車事故に注意！



毎年6月は、自転車の転倒事故が増える月です。特に、荷物の多くなる月曜・金曜日の送迎時に、遊歩道の木の根や苔、雨で濡れたタイル等で滑って転倒し、お子さんや保護者の方がけがをして、時には脳神経外科などを受診する場合があります。  
\*危険な場所をご存じの方は園にお知らせ下さい。

- 子どもには必ず、自転車用のヘルメットとシートベルトを着用させましょう。
- 少しの間でも、子どもを乗せた状態で自転車から離れないようにしましょう。
- 自転車の前後に子どもを乗せる場合は、転倒防止のため「乗せる時は後部から前部」「降ろす時は前部から後部」の順にしましょう。
- 令和2年4月より、[東京都の条例で自転車損害賠償保険等への加入が義務化](#)されています。



●子ども用ペダル無し自転車（[ストライダー](#)等）には、事故防止のための決まりがあります。ルールを守って安全に楽しみましょう！



### ◎『ステイホーム』子どもの虫歯は増えた？

先月、南多摩保健所による幼稚園・保育園向けオンライン歯科研修がありました。昨年度の歯科健診の統計からみた新型コロナの影響について、『当初虫歯増加を心配したが、受診しなくて済むように保護者の方が気をつけている事もあって、乳幼児の虫歯はむしろ減少した』という報告がありました。一方で、集計中の就学後児童の虫歯は増加傾向との事でした。在宅時間が長い事で、つい甘いものを食べてしまう影響があるようです。

### ◎最近よく聞く『おロボカン』って何？

原因は様々ですが、普段から口を閉じることができずに『ぼかん』と開けている状態です。口腔内が乾燥して虫歯になりやすく、姿勢やあごの発達にも影響すると言われ、注目されています。

鼻炎やアレルギー症状があり鼻呼吸ができない場合は、耳鼻科やアレルギー科で治療を。かみ合わせは、乳歯が永久歯に生え変わり終わる12歳頃までに、矯正歯科での相談が勧められるようです。診断はガイドラインがあります。改善には時間がかかるため、気になる時は小児歯科等でご相談ください。

◎家庭でできる事：3歳以下では難しいですが、幼児は、例えば毎日テレビを見ている時や食事の時に『姿勢よく座ってお口閉じてね』と意識させる事で、口を閉じる事の習慣化が期待できます。